新潟大学　人を対象とする研究等倫理審査委員会　オプトアウト書式

①　研究課題名	CPAP 治療中の閉塞型睡眠時無呼吸症候群患者の予後についての検討
②　対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
2002 年５月から CPAP 治療を新潟大学医歯学総合病院、新潟臨港病院、西新潟中央病院で受けた患者さん。	
③　概要	
睡眠時無呼吸症候群は、CPAP 治療により、予後が改善することが知られています。睡眠時無呼吸症候群は心血管系への危険因子であり、CPAP での治療を行わないと致死的イベントが増加することが知られています。閉塞型睡眠時無呼吸症候群患者に CPAP 治療を継続する事が重要であると考えられています。当院における CPAP 加療の予後を研究することは意義があると考えます。本研究の目的は、実臨床における CPAP 治療の注意点を明らかにし、有効性を高めることです。	
④申請番号	２０１８－００８２
④　研究の目的・意義	閉塞性無呼吸症候群について CPAP 治療による予後を明らかにする。
⑤　研究期間	倫理審査委員会承認日から２０３０年３月３１日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	カルテに保存されている病歴、CPAP・PSG データ、新規イベントの情報を利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	病歴（年齢、性別、身体所見、既往歴、治療状況、職歴、主観的眠気アンケート）、血液検査結果、生理機能検査結果（PSG）、CPAP 使用状況（設定、設定条件変更の状況、マスクの種類、加温加湿の有無、アドヒアランス、CPAP 機種）、イベントの状況
⑨利用の範囲	新潟大学　呼吸器・感染症内科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学　呼吸器・感染症内科　助教　大嶋　康義
⑪お問い合わせ先	新潟大学医歯学総合病院 呼吸器・感染症内科　大嶋 康義 Tel：０２５－３６８－９３２５ E-mail：ohshima@med.niigata-u.ac.jp